



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年3月11日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

底力は、
ここにある。

東日本大震災の記憶を風化させないために (3.11)

東日本大震災の発生から11日で11年です。警察がこれまでに(2021年3月現在)確認した死者と行方不明者は1万9747人となっています。また、避難生活などで亡くなったいわゆる震災関連死を含めた震災による死者と行方不明者は2万2303人とされています。

3月11日 校長先生の話(抜粋)

尾倉中学校のみなさん、おはようございます。今日3月11日に東北地方を中心とした「東日本大震災」が発生しました。2011年3月11日午後2時46分、宮城県沖を震源としてマグニチュード9という観測史上最大規模の大地震が発生しました。この地震により巨大な津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋岸に壊滅的な被害をもたらしました。そしてその後福島県の東京電力福島第一原子力発電所で放射性物質の漏えいの重大事故が発生しました。多くの人が命を落としたり、行方不明になったり、故郷を離れて避難生活を送らざるを得なくなりました。地震が発生した時、みなさんは2歳・3歳ですから、覚えていない人がほとんどです。しかし、その後のニュースや新聞で津波や原発事故の様子が繰り返し報道されたのを記憶している人も多いと思います。

あの日から11年という月日が流れました。被災地の復興もだいぶ進んできました。しかし今日現在で死亡された方1万9747人、いまだに行方不明の方2556人、全壊した住家被害は12万2005戸に上っています。現在でも避難生活を余儀なくされている方も多くいらっしゃり、東日本大震災は決して過去のものでなく今もその被害が続いているのだということを私たちは忘れてはなりません。今日は、今一度大震災で被害にあった人たちに思いをはせる機会を共有したいと思います。

みなさんにわかってほしいことは、この震災で大切な家族や友人、住む家を失った人がたくさんいたこと、そして今もその悲しみは消えてはいないのだということです。

私たちは自然の力の前では本当に無力です。いくら頑張っても死んだ人は帰ってこないし、震災の記憶が消えるわけではありません。でも一つだけ私たちにできることがあります。それは「絶対に忘れない」ということです。私たちはあの日を忘れてはいけません。私たちが被災地の人たちに思いをはせ、あの日のことを忘れずに心にとどめて行くこと、そして今、生きていることの素晴らしさや命の大切さをかみしめることこれ続けていくことが真の意味での復興に繋がるのだと校長先生は思います。この後みんなで黙とうを行います。ぜひ被災地の人に思いをはせ、私たちが今幸せな学校生活を送ることが出来ていることに感謝してほしいと思います。